

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	保育内容「環境」 Ⅲ-6-2-1 ③		教員氏名	松山洋平	
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭・保育士	9年
テーマ	乳幼児期に育みたい資質・能力の理解に基づき、保育所保育指針・幼稚園教育要領に示された保育内容「環境」のねらい				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境について、さまざまな具体的資料を通して学び、子どもにとってふさわしい環境とは何かを考察するとともに、環境の視点から見た遊びの展開方法について理解を深める。 ・子どもの発達と年齢に応じた環境との関わりを理解し、保育環境の構成や保育者の役割について、具体的な場面を通して実践的に学ぶ。また、地域の保育所や子育て支援のニーズを調査し、アクティブラーニング(AL)として課題解決型学習に取り組む。 ・自然や身近な素材を用いた遊びを実際に体験することで、子どもが環境と関わりながら遊ぶことの意義を理解し、それを踏まえた保育計画の立案を行う。 ・保育者としての実務経験を基に、具体的な演習と理論を組み合わせながら、保育の指導法について学ぶ授業を展開する。 				
授業の 到達目標	・乳幼児期に育みたい資質・能力の理解に基づき、要領・指針に示された保育内容「環境」のねらい及び内容を理解し、具体的な保育場面を想定して保育内容を展開することができる。				
	・子ども個々の発達や学びの過程を理解し、実際に環境と関わる子どもの姿を理解する方法について説明できる。				
	・子どもを取り巻く環境の重要性について、広義な側面と直接的・具体的に関わる身近な環境の側面とを共に理解し、子どもの生活にふさわしい保育を組み立てることができる。				
テキスト	『保育内容環境 あなたならどうしますか？』(酒井幸子ほか 萌文書林)				
参考書	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(ゲーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験	0	実施しない。授業内評価。		
	授業内課題・発表等	70	各回の提出課題、授業内のワークシート、発表やリアクションペーパー、まとめなど		
	参加度・学習態度等	30	演習内容やディスカッションへの参加態度、取り組みの姿勢		
	その他	0	なし		
再試験	行う	行わない場合の理由	授業期間内に課題の提出期間を設け、毎回の演習を通して学習の質の向上を図る。そのため、シラバスに記載された内容に取り組んでいる者に限り、再試験を実施する。		

授業概要と課題		
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・保育内容「環境」の指導法とは
	授業外学習	<予習> 授業の概要を確認し、自身の身の回りの環境に関心をもつ。次回の授業内容について事前学習を行う。 55分
第2回	テーマ 内容	乳幼児期に育てたい資質・能力(保育の基本)と保育内容「環境」
	授業外学習	<復習> テキスト2章と配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 55分
第3回	テーマ 内容	環境による保育の考え方と個々の子どもへの理解
	授業外学習	<復習> 学習した内容に基づき、保育内容「環境」と子どもへの理解を振り返る。 55分
第4回	テーマ 内容	子どもの園での生活(遊び)と領域「環境」の関係(1)乳児・幼児・小学校との接続
	授業外学習	<復習> テキストと配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 55分
第5回	テーマ 内容	子どもの興味・関心と環境構成の関係(情報機器及び教材の活用の考え方を含む)
	授業外学習	<復習> テキストと配布資料に基づき、子どもの興味・関心と環境構成について学習した内容を振り返る。 55分
第6回	テーマ 内容	遊びを展開する保育者の関わり [フィールドワーク]
	授業外学習	<復習> テキストと配布資料に基づき、遊びを展開する際の保育者の関わりについて学習した内容を振り返る。 55分
第7回	テーマ 内容	子どもの発達と教材研究・指導案・模擬保育と評価の関係(1)長期的な計画(道具・素材の扱い・季節・行事)
	授業外学習	<予習> 教材研究を行うにあたり、身近な環境に興味・関心を持つようにする。 55分
第8回	テーマ 内容	子どもの発達と教材研究・指導案・模擬保育と評価の関係(2)短期的な計画(子どもの遊びの展開・次への手立て)
	授業外学習	<予習> 教材研究を行うにあたり、身近な環境に興味・関心を持つようにする。 55分
第9回	テーマ 内容	子どもの理解に応じた環境構成案の作成
	授業外学習	<復習> テキストと配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 <予習> 事前準備として、実習日誌を読み返しておく。 55分

第10回	テーマ 内容	環境に関わる子どもの理解と保育記録(写真を用いた記録の実践・情報機器及び教材の活用)(プレゼンテーション)	
	授業外学習	<復習>テキストと配布資料、実習日誌に基づき、学習した内容を振り返る。	55分
第11回	テーマ 内容	教材研究・模擬保育と評価(フィールドワーク)	
	授業外学習	<復習>配布資料に基づきフィールドワークに臨み、学習した内容を振り返る。	55分
第12回	テーマ 内容	子どもを取り巻く「環境」の理解と保育実践方法との関係(フィールドワーク)	
	授業外学習	<復習>配布資料に基づきフィールドワークに臨み、学習した内容を振り返る。	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ、これまでの学びを振り返る	
	授業外学習	<復習>保育内容の総合的指導法「環境」の授業を通して、子どもの育ちを支える環境について総括する。	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	保育内容「環境」 Ⅲ-6-2-1 ③		教員氏名	吉田久仁子		
学年	1年		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼児必修		実務経験	幼稚園教諭・保育士	26年	
テーマ	乳幼児期に育みたい資質・能力の理解に基づき、要領・指針に示された保育内容「環境」のねらい及び内容を理解す					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				○
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境について多様な資料を通して学び、子どもにとってふさわしい環境とは何かを考察する。 ・子どもの発達と年齢に応じた環境との関わりを理解し、保育環境の構成の意義や保育者の役割について学ぶ。 学生自身が自然や身近な素材を用いた遊びを体験することで、子どもが身の回りの環境に関わって遊ぶことの意味・を、体験的に理解する。 ・保育者としての実務経験をもとに、具体的な演習と理論を組み合わせた授業を展開する。					
授業の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く環境(人的、物的、自然、社会、文化など)と、保育内容「環境」のねらいと内容を説明できる。 ・身近な環境(生物・自然・施設・情報・素材・教材・図形・文字など)に関わることによって育つ、子どもの思考や概念について論じることができる。 ・環境に関わりながら遊ぶ子どもの発達とそれを支える保育者の役割を説明できる。 					
テキスト	『保育内容環境 あなたならどうしますか?』(酒井幸子ほか 萌文書林)					
参考書	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・筆記試験	0	実施しない。授業内評価。			
	授業内課題・発表等	70	各回の提出課題、授業内のワークシート、発表やリアクションペーパー、まとめなど			
	参加度・学習態度等	30	演習内容やディスカッションへの参加態度、取り組みの姿勢			
	その他		なし			
再試験	行う	行わない場合の理由	授業期間内に課題の提出期間を設け、毎回の演習を通して学習の質の向上を図る。そのため、シラバスに記載された内容に取り組んでいる者に限り、再試験を実施する。			

授業概要と課題		
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・保育内容「環境」とは
	授業外学習	〈予習・復習〉授業の概要を確認し、自身の身の回りの環境に関心をもつ。次回の授業内容について事前学習を行う。 55分
第2回	テーマ 内容	環境を通して行う保育とは
	授業外学習	〈予習・復習〉テキスト1章を読む。 配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 55分
第3回	テーマ 内容	保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領にみる保育内容「環境」
	授業外学習	〈予習・復習〉保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領の保育内容「環境」を読む。 配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 55分
第4回	テーマ 内容	子どもを取り巻く「環境」の実践的課題 園での生活と保育内容「環境」
	授業外学習	〈予習・復習〉テキスト1, 2章を読む。 テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 55分
第5回	テーマ 内容	子どもの発達の理解と身近な環境
	授業外学習	〈予習・復習〉子どもの成長発達過程と環境とのかかわりを確認する。テキストや配布資料に基づき、 学習した内容を振り返る。 55分
第6回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(1) 子どもの生活と自然の大切さの意味
	授業外学習	〈予習・復習〉子どもたちを取り巻く社会状況や身の回りの環境に関心をもち、学習した内容を振り返る。 55分
第7回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(2) 子ども理解と環境構成・室内環境の構成から
	授業外学習	〈予習・復習〉発達に応じた環境構成の基本を調べる。 55分
第8回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(3) 対話と探求と遊びの環境・園庭環境の構成から
	授業外学習	〈予習・復習〉公園や大学構内にある草木や花の名前を調べる。学習した内容を振り返る。 55分
第9回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(4) 多様な素材や道具との関わりからの学び
	授業外学習	〈予習・復習〉身の回りにある「物」に関心に向け、子どもの遊びに利用できるものを確認する。 テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。 55分

第10回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(5) 季節の変化・行事と子どもの経験	
	授業外学習	〈予習・復習〉テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。	55分
第11回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(6) 親しみと畏敬の念・生き物との関わりから	
	授業外学習	〈予習・復習〉テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る。	55分
第12回	テーマ 内容	保育内容「環境」に関連する模擬指導案作成 環境へのかかわりを支える保育者の役割	
	授業外学習	〈予習・復習〉保育環境と保育者の援助について、配布資料やテキストに基づき、これまで学習した内容をまとめる。	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ、これまでの学びを振り返る	
	授業外学習	〈予習・復習〉保育内容「環境」の授業を通して、子どもの育ちを支える環境について総括する。	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。